

# 小説「ばんとう」漫画に

北栄町教委、鳥取育英高と同窓会



反射炉跡でその歴史と太蔵への影響について解説を受ける生徒ら＝29日、北栄町六尾

育英中学校の創設者、豊田太蔵の生涯を描いた松本薫さんの小説「ばんとう―山陰初の私立中学校をつくった男―」を漫画化する取り組みが北栄町で始まった。町教育委員会と鳥取中央育英高、同校同窓会が連携し、本年度末までに完成させる。29日にはキャラクター画などを担当する同校生徒と関係者らがフィールドワークを実施。太蔵ゆかりの場所を訪ね歩き、漫画への構想を膨らませた。

(田中美千留)

育英中創設者、豊田太蔵の生涯描く

## ゆかりの地巡り構想練る

私財を教育のためにあげつった太蔵の偉業について、小説を基に誰もが気軽に読める漫画にして伝え残そう、とB&G財団の「偉人マンガの製作と活用事業」の助成金を活用して実施。育英中の後進である同校の美術部員3人が協力し、米子市の漫画家・寺西竜也さんのアドバイスを受けながら制作を進めていく。

フィールドワークには町教委担当者や同窓会長の佐伯健二さんらが同行し、各所で歴史を解説。豊田邸跡や育英中時代の門柱のほか、太蔵の生き方に大きな影響を与えた武信佐五右衛門らが築いた六尾反射炉跡、由良台場などをめぐった。

キャラクターデザインを務める同校美術部長の前美里さん(18)は「ばんとう」を読んで漫画化への意欲が湧いた。まちめぐりで知らなかった地域の歴史にも触れることができた。人物や背景の描写に生かしたい」と意気込んだ。

漫画本は2千冊作り、町内の小中学校や公共施設に配布する予定。町教委では「作品が町の新たな財産になるとともに、生徒にとっても貴重な体験で進路を決める糧になるのでは」と期待する。